

要望への対応状況

MLF 大友

MLF利用懇からの要望については、J-PARCセンターで対応

昨年度のMLFシンポでの利用懇からの要望

1: 静謐かつ区切られたプライベートスペースが必要
(お祈りの場所、オンライン会議)。

実現

2 安全講習の動画は、すべて事前にオンラインで受講できるようにしてほしい。

実現

週末祝日の安全講習は装置担当者なしでも受講できるようにしてほしい。

3: 装置PCとは独立なデータ解析クラスターサーバーが欲しい

4: ドミトリーからのリモート測定を可能にしてほしい。

BLによる?

5: MLF内での荷物の受け取り、発送は可能にならないか。

実現

実現した3点について、説明いただきたい

対応済み要望

オンライン安全教育（2/28 UOからのメール）

- J-PARCユーザー各位

2025年度より、J-PARC入構に必要な安全教育は完全にオンライン化いたします。

これによりユーザーの皆様は入構前に必要な教育を受講完了していただくことが可能となり、ご到着後すぐに物品を受領し、実験施設へと移動することが可能となります。詳細は以下の通りです。

開始日：2025年4月（予定）

対象：利用者支援システム、J-PARCポータルを利用するすべてのユーザー

- [変更前]：施設教育のビデオのみが視聴できました。また到着後に理解度確認テストや放射線安全教育を受講していただいております。
- [変更後]：施設教育と放射線安全教育の両方について、ビデオの視聴と「理解度確認テスト」をオンラインで完了することが出来ます。

オンライン安全教育実施方法

- 《 1. 実施方法》

利用者支援システム又はJ-PARCポータルにログインし安全教育を受講してください。
ご自身のページに表示されている安全教育が受講対象科目となります。
ビデオ視聴と理解度確認テストは分けて実施することが可能です。

- 《 2. 受講期限》

入構する3業務日前までには、理解度確認テストを含む全ての必要な教育の受講を完了してください。
ただし、システム停止期間がある場合などは、それよりも前に受講を完了する必要があります。

- 《 3. 留意事項》

- ・ログインは必ず入構するユーザーご本人が行ってください。本人以外の第3者が受講したとみなされる行為が発見された際は、当該ユーザーのJ-PARC入構をお断りします。
- ・運用開始以降は、原則としてユーザズオフィス及び実験施設における夜間・休日の教育は実施いたしません。

置き配

MLF「置き配」場所の設置と利用上の注意について

・2024/6より

- 物質・生命科学実験施設(MLF)2階ユーザー控え室に「置き配」場所を設置しました。以下の注意事項をお読み頂き、ご利用ください。
- 「置き配」は宅配業者が導入している配達手段の一つです。「置き配」場所に置かれた荷物については、施設側では一切責任を負いません。宅配業者と利用者の合意の上で、「置き配」場所をご利用ください。
- 「置き配」場所のご利用は、平日の午前9時から午後5時までとしてください。
- 「置き配」場所に置かれた荷物は、なるべくご利用当日中に受け取りください。
- 管理区域内へのダンボール箱の持ち込みは制限されています。なるべくプラスチックケースなどを用いて荷物を発送してください。

<置き配利用時の宛先記載方法>

〒319-1195 茨城県那珂郡東海村白方 2-4

J-PARC センター 物質・生命科学実験施設 2F ユーザー控え室 置き配 場所

<置き配利用時の宛先記載方法>

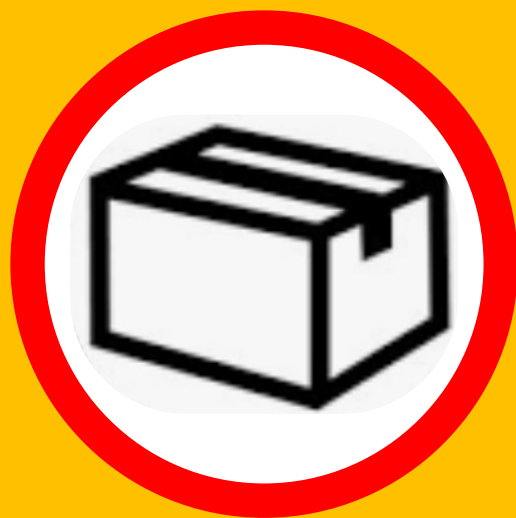
〒319-1195 茨城県那珂郡東海村白方 2-4

J-PARC センター 物質・生命科学実験施設 2F ユーザー控え室 置き配 場所
(受領者氏名、所属、課題番号、BL 番号)



置き配 OK!

物質・生命科学実験施設(MLF)2Fユーザー控え室
のダンボール仮置き場に置き配できます。



サーベイチェック時の連絡手段の確保

- 試料や機器のサーベイチェックの際に、放管に電話することができない
（サーベチェックの場所ではスマホが通じない）
- MLF実験室内サーベエリア（出入口から第1実験室への通路）にPHSを置いた（2024/12）

優先してほしい要望

アンケートでの要望を幹事会で検討し、選抜した

- 1: 静謐かつ区切られたプライベートスペースの**拡充**
(お祈りの場所、秘匿性のオンライン会議)。(継続してのお願い)
- 2: 申請時に、査読者からはずしてほしい研究者を指定できるようにしてほしい
- 3: ビームタイム調整は、希望調査後すみやかに決定するよう各BLに共通な扱いにする。(ユーザーからの日程要望をしやすい雰囲気を。)
- 4: 申請の選択(非公開、公開)についての適切な情報発信
- 5: ドミトリーでのWifiの拡充(リモート実験の前提として。)

要望 1 :

静謐かつ区切られたプライベートスペースが必要
(お祈りの場所、オンライン会議)。

Web会議ブース（2/13 UOからのメール）

- ユーザー各位、

J-PARC 研究棟 3 階ロビーに Web 会議
ブースを設置いたしました。
Web 会議で有効にご活用ください。

場所：J-PARC 研究棟 3 階ロビー

台数：2 台（1人用 × 1台、2人用 ×
1台）

種類：セミクローズ型（天井オープ
ン）



Web会議ブース利用の注意事項

- ブースは **Web** 会議専用ですので、それ以外の目的での利用は控えてください。
- ブースの利用は**予約制**とします。
 - 入口に掛けてある「使用簿（予約表）」に必要事項を記入の上、利用してください。
- 1回の利用は「**2 時間以内**」とします。
- ブース内での飲食は禁止します。
 - ただし、ペットボトル等のフタの閉まる飲み物は持ち込み可とします。
- 故意、過失に拘わらず、ブースを破損等した場合は、総務セクション（J-PARC 研究棟 4 階、tel029-284-4851）へ速やかに申し出てください。

礼拝施設

- J-PARC研究棟内に設置することを検討中

要望2： 査読者からはずすべき研究者を指定

- 論文査読でも行われていることであり、導入を検討します。
- 中性子のレフェリーを三人から四人にすることも検討します。
 - ミュオンはすでに四人

要望2'： 採択結果通知の改善

- Approved課題については、Approved 課題中、上位1/3であればA、中位1/3であればB、下位1/3であればCを記載して通知しています。
- Reserved課題については、Reserved課題中、上位1/3であればD、中位1/3であればE、下位1/3であればEを記載して通知しています。
- 課題申請にあたっては、装置担当者との事前打ち合わせを推奨しております。その際に、装置担当者からアドバイスさせていただきます。
- また、J-JOINでは中性子・ミュオンに利用に関する相談を受け付けております。MLFとJRR-3を中心に、研究目的に適した手法をご案内します。

採択通知

- =====
- Proposal No.: ●
- Proposal Title: ●
- Provisional Result: ● (●)*←審査結果と優先度（A-F）* 例：Approved (A)*、Reserved (E)*
- Beamtime: ●
- =====

- * The approved proposals were rated on a scale of A, B and C for the top 1/3, middle 1/3, and bottom 1/3 of the proposals of the applicable beamline, and the reserved proposals were similarly rated on a scale of D, E, and F.

優先してほしい要望

- 1: 静謐かつ区切られたプライベートスペースの拡充
(お祈りの場所、秘匿性のオンライン会議)。(継続してのお願い)
- 2: 申請時に、査読者からはずしてほしい研究者を指定できるようにしてほしい
- 3: ビームタイム調整は、希望調査後すみやかに決定するよう各BLに共通な扱いにする。(ユーザーからの日程要望をいいやすい雰囲気を。)
- 4: 申請の選択(非公開、公開)についての適切な情報発信
- 5: ドミトリーでのWifiの拡充(リモート実験の前提として。)

要望3：

ビームタイム希望調査後の速やかな決定と通知

- 希望調査に対するユーザーからの回答の時間差、装置担当者の調整時間、試料環境機器のスケジューリング調整時間等により、速やかな通知ができていない場合があります。
- 希望調査の方法や決定方法を検討します。

優先してほしい要望

- 1: 静謐かつ区切られたプライベートスペースの拡充
(お祈りの場所、秘匿性のオンライン会議)。(継続してのお願い)
- 2: 申請時に、査読者からはずしてほしい研究者を指定できるようにしてほしい
- 3: ビームタイム調整は、希望調査後すみやかに決定するよう各BLに共通な扱いにする。(ユーザーからの日程要望をしやすい雰囲気を。)
- 4: 申請の選択(非公開、公開)についての適切な情報発信
- 5: ドミトリーでのWifiの拡充(リモート実験の前提として。)

要望4：

申請の選択（非公開、公開）についての適切な情報発信

- ・ユーザー目線に立った課題申請の説明資料を作成します。

現在の一般課題以外の選択肢

Fast Track Proposal

利用者から事前にお預かりした試料を装置グループが代わりに測定する課題。

7つのBL

公開 無償

緊急課題

学術的・社会的に重要性が極めて高く、迅速に実施する必要がある課題。

中性子・ミュオン全ビームライン

公開 無償

有償随時課題

学術的・社会的に重要性が極めて高く、迅速に実施する必要がある課題。

中性子・ミュオン全ビームライン

専有 有償

茨城県産業利用課題(BL03, BL20)

産業界の方を対象とした、製品開発等に利用可能な課題

年8回 1サイクル(約1ヶ月)

これらを適切に利用すれば、解決するのではないか。
ユーザーに適切な情報発信をお願いしたい。

緊急課題の説明の変更案

2025年秋に実施できる課題が公募できないことで、学位取得に支障をきたすと予測されるため、学位取得のための緊急課題申請を可能にしたい

現行

<u>緊急課題</u>	学術的・社会的に重要性が極めて高く、迅速に実施する必要がある課題。申請受付期間は4/1～5/31と10/1～翌3/31。 【対象装置】中性子・ミュオン全ビームライン	成果公開	無償利用	要実験 報告書
-------------	---	------	------	------------

変更案

<u>緊急課題</u>	学術的・社会的に重要性が極めて高く、迅速に実施する必要がある課題。 または学位論文執筆のために迅速にデータ取得が必要である課題。 申請受付期間は4/1～5/31と10/1～翌3/31。 【対象装置】中性子・ミュオン全ビームライン	成果公開	無償利用	要実験 報告書
-------------	--	------	------	------------

2025年度より試験的に実施する。 2026年度以降も継続するかどうかは実施結果を見て判断する。

学位論文：学士、修士、博士

要望5：
ドミトリーでのWiFi

ドミトリーのWiFi改善

- R6年度（2024年度）に、ドミトリー1号館のアクセスポイント（AP）の交換を完了
 - 通信状態が良好であることを確認済み
- R7年度（2025年度）に、ドミトリー2号館のアクセスポイント（AP）を交換予定